

活動報告

美幌町郷土史研究会では、多くの方に、水辺の自然の貴重さや面白さ等に興味・関心を抱いてもらうため、水辺にすんでいる生きものの代表ともいえるトンボをテーマにして、下記の2つの事業を実施した。

■教育普及書「不思議なトンボの世界」の発行

身近な水辺の生きものであるトンボについて、その生活の面白さや人間との深い関わり合いなどについて、より多くの方々にわかりやすく知ってもらうため、「不思議なトンボの世界」(B5版 オールカラー56ページ)を発行した。

網走管内の各小中学校・図書館をはじめ、道内教育関係機関(博物館、ネイチャーセンターなど)を中心に無料で配布し、自然教育活動に活用してもらえるようにした。

■トンボをテーマにした講演会や観察会をトンボフォーラムの開催

多くの方々に、身近にトンボの世界に関心を抱いてもらえるよう「トンボフォーラム」を開催した。講師に長くトンボをテーマにした研究活動をされている生方秀紀氏(北海道教育大学釧路校)、トンボをテーマに撮影活動を続けられている田中 博氏(自然写真家)に迎え、講演会、および野外観察会を実施した。講演会では「トンボ日記～水辺の詩」という演題で、田中 博氏より、これまで日本各地でトンボを撮影された経験から知り得たトンボの生態、トンボとつきあうようになったきっかけ、トンボを撮影するコツなど、実体験を交えた話題を提供していただいた。生方秀紀氏からは「カラカネトンボの生活史・生態」という演題で、トンボ研究を通して解明したことなど、研究者としての立場からトンボとの関わり合いについて、話題を提供していただいた。野外観察会では、参加者それぞれが、昆虫網でトンボを捕まえ、講師のレクチャーを交えながら、詳しく形態観察することができた。

日 時 平成24年9月2日(日)

9:30～12:00(講演会) 13:00～15:00(観察会)

場 所 美幌博物館視聴覚室(講演会) 美幌町福住地区(美幌温水ため池;観察会)

参加者 講演会:大人40名 観察会:大人22名、小中高生1名、幼児3名



教育普及書「不思議なトンボの世界」



講演会風景



観察会風景